



2020年1月30日

各 位

会 社 名 株式会社三井 E&S ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 岡 良一
(コード：7003、東証第一部)
問合せ先 財務経理部長 三宅 一徳
(TEL 03-3544-3121)

当社子会社（三井海洋開発株式会社）における特別損失の計上 及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である三井海洋開発株式会社（コード番号 6269）が、同社の2019年12月期通期連結決算において特別損失を計上する見込みであり、2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。詳細は、添付「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社の2020年3月期連結業績予想につきましては、他の要因も含め現在精査中であり、修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

以上

各位

上場会社名	三井海洋開発株式会社
代表者	代表取締役社長 香西 勇治
(コード番号	6269)
問合せ先責任者	常務執行役員 高野 育浩
(TEL	03-5290-1200)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年12月期通期連結決算において特別損失を計上する見込みであり、また、最近の業績動向も踏まえ、2019年2月5日に公表し、2019年11月1日に修正した2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

ブラジルの沖合でチャーターサービスを提供していたFPSO Cidade do Rio de Janeiro MV14(“当FPSO”)は、2018年7月で石油の生産を終了し本鉱区からの撤去作業を進めていました。しかしながら、撤去作業中に当FPSOの船体外部に亀裂が見つかり、ブラジル国外のスクラップヤードへの曳航を行うためには、ブラジル国内の造船所において亀裂の修繕と当FPSOに付着した天然起源放射性物質やサンゴ等の除去を行うことが必要となりました。亀裂の原因を調査中であることなどから、当該修繕費並びに関連費用の当FPSOを所有するESPADARTE MV14 B.V.との分担や、保険求償額等が確定しないため、当会計年度においては、見積費用のほぼ全額を当社、当社の連結子会社であるMODEC International, Inc.及びMODEC Serviços de Petróleo do Brasil Ltda.の負担として、約170億円を特別損失として計上することとせざるを得ない見込みです。

主な見積費用の内訳は以下のとおりです。

造船所での修繕・除去費用	約85億円
造船所への曳航費用その他	約85億円
合計	約170億円

なお、当該修繕作業は2020年第1四半期に終了を予定しております。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	320,000	△6,000	2,000	0	0
今回修正予想(B)	330,000	△5,000	0	△18,500	△328.30
増減額(B-A)	10,000	1,000	△2,000	△18,500	
増減率(%)	3.1	-	△100.0	-	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	221,909	14,928	28,779	21,891	388.23

(2) 通期業績予想修正の理由

浮体式石油生産貯蔵積出設備(FPSO)の建造工事の進捗が予想を上回ったこと及び採算性の改善などにより売上高と営業利益は予想を上方修正することといたしました。一方、上述の特別損失の計上に加え、海外子会社における為替差損の計上などにより経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想を下方修正することといたしました。

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上